

# 「讃岐典侍日記」参考文献

Reference materials for "Sanukinosuke niki,"

三谷幸子

左の要領で記載する。記載について辞典類・目録類・研究書目解題等は省いた。発行の年は、明治・大正・昭和を明・大・昭と略した。

## 一、伝写本

上巻本系

上下巻本系（秘書郎本系・鹿島神宮本系）

## 一、単行本（明治以降の本文・注釈・テキスト）

一、雑誌・紀要論文（次の項目に分類し、卒業論文は省略した。）

(一) 伝本

(二) 成立・形態

(三) 本文・索引

(四) 注釈・語法

(五) 作者

(六) 概説・その他

(七) 書評・新刊紹介

## 二、単行本所収論文

「讃岐典侍日記」参考文献

## 一、日記文学一般

一、文学史類

一、講座論文・その他

一、雑誌特集号

一、叢書類

一、「讃岐典侍日記レポート集」目次

## 伝写本

上巻本（一冊本・奥書なし）（九本）

今小路覚瑞氏所蔵本

関西大学図書館所蔵本

京都大学図書館所蔵本（鍋島家中川文庫本透写本）

桃園文庫所蔵本（池田龜鑑博士所蔵本）

(1)

桃園文庫所蔵本 (池田龜鑑博士所蔵本) (2)

鍋島家中川文庫本 (祐徳稻荷神社委託本)

三手文庫所蔵本 (今井似閑旧蔵本)

水戸彰考館所蔵本 (統扶桑拾葉集所収小川彦兵衛本)

山口県立図書館所蔵本 (今井似閑本摹写本)

上 下 卷 本

秘書郎本系 (二十本)

岩瀬文庫所蔵本 (西尾市立図書館委託本)

萩野由之博士所蔵本 賀茂季隆本

歌仙洞文庫所蔵 賀茂季隆本

九州大学図書館所蔵本

宮内庁書陵部所蔵本

宮内庁書陵部所蔵本 (黒川真道旧蔵本)

群書類従所収本

神宮文庫所蔵 清渚集本

神宮文庫所蔵 勤思堂本

神宮文庫所蔵 御巫書本

任吉文庫所蔵本

多和文庫所蔵本

天理図書館所蔵本 (村田春海旧蔵本)

桃園文庫所蔵本 (3)

桃園文庫所蔵本 清水浜臣旧蔵本 (4)

東京大学図書館所蔵本 (南葵文庫旧蔵本)

東大史料編纂所々蔵本 (押小路家旧蔵本)

水戸彰考館所蔵 八洲文藝所収本

無窮会図書館神習文庫所蔵本 (井上頼因旧蔵本)

無窮会図書館神習文庫所蔵 「雑筆」所収本

鹿島神宮本系 (三本)

関西学院大学図書館所蔵本

高橋貞一博士所蔵本

水戸彰考館所蔵本 (小山田与清本)

単 行 本 (明治以降の本文・注釈・テキスト)

讃岐典侍日記通釈 玉井幸助 育英書院 昭11・2

讃岐典侍日記 玉井幸助 岩波書店 昭14・11

讃岐典侍日記 玉井幸助 朝日新聞社 昭28・12

讃岐典侍日記索引 馬淵一夫 自家版 昭29・11

讃岐典侍日記 尾崎知光 桜楓社 昭35・3

さぬき日記 本位田重美 関西学院大学 昭40・6

校本讃岐典侍日記 片桐洋一 松蔭国文資料叢刊 昭41・11

校本讃岐典侍日記 今小路覚瑞 初音書房 昭42・12

讃岐典侍日記全注解 玉井幸助 有精堂 昭44・5

雑誌・紀要論文

讃岐典侍日記 校注・訳	石井文夫	小学館	昭46・6
校註 讃岐典侍日記	今小路覚瑞 三谷幸子	笠間書院	昭51・4
讃岐典侍日記 全訳注	森本元子	講談社	昭52・10
讃岐典侍日記 研究と解釈	草部了円	笠間書院	昭52・11

(一) 伝 本

清渚集と讃岐典侍日記	金子英二	国語と国文学	昭12・11
讃岐典侍日記伝本考	藤田かず	平安文学研究	昭29・12
讃岐典侍日記の一異本	高橋貞一	国語教育	昭34・2
讃岐典侍日記の伝本について	橋本奎子	大阪女子大専 攻科終了論文	昭40・3
讃岐典侍日記の伝本について	三谷幸子	平安文学研究	昭41・10
続讃岐典侍日記伝本について	三谷幸子	平安文学研究	昭42・6
清水浜臣旧蔵讃岐典侍日記	岩清水尚	語学・文学	昭47・3
翻刻 彰考館文庫蔵小山田本讃岐典侍日記	佐藤罔久・石田和子	群女国文	昭51・3

(二) 成立・形態

讃岐典侍日記の成立	森田兼吉	国語・国文	昭38・1
讃岐典侍日記	石壁敬子	言語と文芸	昭42・11
讃岐典侍日記の形成	宮崎荘平	中古文学	昭45・9

(三) 本文・索引

讃岐典侍日記について	佐藤武弘	日本文学	昭49・12
— 成立と形態に関する一考察 —			
讃岐典侍日記小論	爪生原和子	お茶の水女子 大学紀要	昭50・7
讃岐典侍日記覚え書(一、本文について)	柿本 奨	解釈	昭40・1
讃岐典侍日記の考察(本文校訂・第49段の年時など)	田中美恵子	学大国文	昭40・2
讃岐典侍日記用語索引	石井文夫	宇都宮大学教育学部紀要	昭41・43
讃岐典侍日記の本文整理	柿本 奨	学大国文	昭42・9
讃岐典侍日記の本文整理	柿本 奨	学大国文	昭43・2
「讃岐典侍日記」本文考	松本寧至	日白学園女子短 期大学研究紀要	昭46・3

(四) 注 釈・語 法

讃岐典侍日記 註釈	萩野由之	国学院雑誌	明36・2・6
讃岐典侍日記通釈	玉井幸助	国語教育	昭7・3・昭8・8
「讃岐典侍日記」注釈存疑	馬淵一夫	京都府立園部 高校研究紀要	昭28・11
讃岐典侍日記用語について	森野宗明	未定稿	昭32・7
讃岐典侍日記私注	小松登美	武蔵野文学	昭33・3
讃岐典侍日記の和歌について	宮崎荘平	都大論究	昭39・12

「讃岐典侍日記」参考文献

- 讃岐典侍日記試解 ―二月になりて―  
木位田重美 人文論究 昭40・7
- 女流日記文学における叙述法の一特性  
―時間的構成を支える叙述の方法について―  
宮崎荘平 国語と国文学 昭42・5
- 讃岐典侍日記の歌一首  
宮崎荘平 東京書籍高校通信・国語 昭42・10
- 讃岐典侍日記の推量表現  
宮崎荘平 国語国文 昭44・6  
(日記文学における推量表現の様相所収)
- 讃岐典侍日記における補助動詞「まるらす」について  
宮腰 賢 国学院雑誌 昭46・12
- 係り結びよりみた「讃岐典侍日記」と「建寿御前日記」の相違  
山口雄輔 国語研究 昭47・6
- 「讃岐典侍日記」注釈補訂  
石井文夫 字都官大学教  
育学部紀要 昭47・12
- 讃岐典侍日記『昔の御ゆかりをめぐって』―長子とその母―  
森田兼吉 国語と国文学 昭49・8
- 讃岐典侍の周辺「昔の御ゆかり」異見  
植村真知子 平安文学研究 昭51・6
- 「讃岐典侍日記」解釈についての一考察  
高木澄子 平安文学研究 昭51・6  
仲村敏子
- 「讃岐典侍日記」解釈についての一考察  
高木澄子 平安文学研究 昭51・10  
仲村敏子
- 「讃岐典侍日記」解釈についての一考察 (三)  
高木澄子 平安文学研究 昭52・6  
仲村敏子
- 「讃岐典侍日記」と和歌  
守屋省吾 平安文学研究 昭52・6
- (五) 作 者
- 讃岐典侍日記の作者について  
桜井 秀 わか竹 大6・2
- 讃岐典侍日記作者について  
玉井幸助 史学雑誌 昭4・9
- 讃岐典侍日記作者考  
大友洋子 女子大国文 昭33・10
- (六) 概説・その他
- 讃岐典侍考(上)  
桜井 秀 国学院雑誌 明42・7
- 讃岐典侍考(下)  
桜井 秀 国学院雑誌 明42・8
- 讃岐典侍日記の印象  
玉井幸助 国語教育 昭2・6
- 讃岐の典侍の日記  
玉井幸助 国語教育 昭4・10
- 讃岐典侍日記中の人物  
玉井幸助 史学雑誌 昭5・11
- 女流日記研究の一態度  
金子英二 解釈と鑑賞 昭12・3
- 讃岐典侍日記  
玉井幸助 国語文化 昭17・1
- 讃岐典侍日記の主題性  
佐山 济 国語文化 昭17・1
- 日記文学雑感  
玉井幸助 解釈と鑑賞 昭22・8
- 人間天皇の文学  
長野嘗一 解釈と鑑賞 昭24・4
- 讃岐典侍日記について  
牛窪成一 平安文学研究 昭25・3
- 讃岐典日記―死を凝視して―  
森本元子 解釈と鑑賞 昭29・1
- 日記文学研究史と主要文献  
今井卓爾 解釈と鑑賞 昭29・1

讃岐典侍日記 堤 亮子 平安朝文学研究 昭33・10  
 讃岐典侍日記 ―問題点とその整理―  
 今井源衛 解釈と鑑賞 昭36・2  
 田中澄江 解釈と鑑賞 昭36・2  
 宮崎荘平 国語と国文学 昭39・3  
 今井卓爾 国文学 昭39・6  
 讃岐典侍日記の考察 ―俊成母説の検討―  
 臼田まゆみ 国文 昭39・7  
 「平安時代日記文学に現われた生活と思想」所収  
 今井卓爾 国文学 昭40・1  
 高橋澄子 国語・国文 昭40・2  
 石埜敬子 国文学 昭40・3  
 今井卓爾 国文学 昭40・3  
 愛執の文学 ―讃岐典侍日記の場合―  
 大内摩耶子 大阪府立大学紀要 昭40・3  
 蔡藤理恵 淑徳国文 昭40・3  
 稲賀敬二 国文学 昭40・12  
 閻瀬葉子 淑徳国文 昭41・1  
 讃岐典侍日記(宮廷女流日記文学解題所収)  
 石埜敬子 解釈と鑑賞 昭41・3  
 今井卓爾 解釈と鑑賞 昭41・3  
 宮廷女性のころ ―死― 讃岐典侍日記の場合  
 柿本 奨 解釈と鑑賞 昭41・3  
 讃岐典侍日記の芸術性について  
 佐藤武弘 日本文学 昭41・11

讃岐典侍日記の思慕と追憶の情について  
 平田道子 国文鶴見 昭43・3  
 堀河院と笛  
 宮崎荘平 芸能と文芸 昭43・7  
 讃岐典侍日記の一考察  
 伊藤容子 女子大國文 昭44・5  
 ―日記につながる叙述の問題―  
 「王朝女流日記に見る女の性」所収  
 田中澄江 国文学 昭44・5  
 「いとまいる」の例 ―讃岐典侍日記から―  
 三谷幸子 平安文学研究 昭44・6  
 讃岐典侍日記「常陸殿」について  
 宮崎荘平 国文学 昭44・11  
 中古文学 ―日記文学の研究について―  
 木村正中 言語と文芸 昭45・1  
 日記文学執筆の一契機―死と回想―  
 石原昭平 東横国文 昭46・11  
 堀河帝の後宮―讃岐典侍日記形成の背景―  
 守屋省吾 平安文学研究 昭46・11  
 生への呪詛「蜻蛉日記」から「讃岐典侍日記」へ  
 関根賢司 昭和学院大学紀要 昭46・12  
 讃岐典侍日記 (女流日記の展開)  
 宮崎荘平 解釈と鑑賞 昭47・4  
 今関敏子 お茶の水女子大学紀要 昭47・6  
 讃岐典侍の性格―「讃岐典侍日記」と「長秋記」―  
 松本寧至 群女国文 昭47・11  
 「讃岐典侍日記」の書きたかっもの  
 瀬戸由美子 言語と文芸 昭48・5  
 讃岐典侍日記 愛をめぐる古典④ 中西 進 短歌 昭52・4

「日記文学における時間」所収 石原昭平 日本文学 昭52・11

(七) 書評・新刊紹介

「朝日古典全書 讃岐典侍日記」に蝕れて

馬淵一夫 平安文学研究 昭29・6

新刊紹介「讃岐典侍日記」 田中重太郎 平安文学研究 昭35・11

書評 尾崎知光氏編「讃岐典侍日記」

馬淵一夫 平安文学研究 昭35・11

讃岐典侍日記とところどころ 大城富士男 国語・国文 昭44・11  
—全註解の刊行に際して—

単行本所収論文

「国文学ノート」 河出書房 昭22・7

徒然草と讃岐典侍日記 島津久基

「古典文学研究必携」 市古貞次編 学燈社 昭42・2

讃岐典侍日記・その他の日記 今井卓爾

「日本文学史の研究」 中古篇 塙書房 昭44・3

第六節 讃岐典侍日記の文章 西尾光雄

「佐伯梅友博士古稀記念 国語学論集」 表現社 昭44・6

「讃岐典侍日記」における敬語 石井文夫

「国語史上よりみたる「讃岐典侍日記」の用語について

—待遇表現を中心に— 森野宗明

「たった一人の世の中」 鈴木一雄編 至文堂 昭48・10

『讃岐典侍日記』の心 鈴木一雄

書きたかったこと—『讃岐典侍日記』 瀬戸由美子

「上巻と下巻の間」讃岐典侍日記 石埜敬子

『蜻蛉日記研究序説』 伊藤 博 笠間書院 昭51・12

「回想表現・自然描写・服飾表現・他の日記とのかかわり」の章段において讃岐典侍日記に言及している。

『人物日本の女性史』6 集英社 昭52・8

日記につづる哀歎『讃岐典侍』 赤木志津子

日記文学一般 (讃岐典侍日記所収本のみ)

官廷女流日記文学 池田亀鑑 至文堂 昭2・2

平安朝日記集 武 笠三 有朋堂 昭6・6

平安朝日記の研究 今井卓爾 啓文社 昭10・10

日記文学 西下経一 河出書房 昭13・5

平安朝の日記文学(下) 藤田徳太郎 建設社 昭18・1

日記文学概説 玉井幸助 目黒書店 昭20・6

日記 紀行の文学 久松潜一ほか 三省堂 昭26・4

平安時代日記文学の研究 今井卓爾 明治書院 昭32・10

日記文学の研究 玉井幸助 塙 書房 昭40・10

平安女流日記文学の研究 笠間書院 昭47・10

平安朝日記 Ⅱ 石原昭平ほか 有精堂 昭50・11

中古女流日記文学 伊藤 博 笠間書院 昭52・4

文学史類

国文学全史 平安朝篇	藤岡作太郎	東京開成館	明38・10
平安朝文学史 下	五十嵐力	東京堂	昭14・7
日本文学史 中古	阿部秋生	至文堂	昭30・5
中古日本文学概説	阿部秋生	秀英社	昭36・3
平安朝文学史 久松潜一・西下経一監修	阿部秋生	明治書院	昭40・4
日本文学史 中古篇	阿部秋生	塙選書	昭41・4
年表資料 中古文学史	犬養廉ほか	笠間書院	昭48・4

講座論文その他

王朝時代の日記文学六	池田亀鑑	(日本文学講座18)	昭3・7
平安朝の日記紀行	西下経一	(岩波講座日本文学8)	昭7・1
平安時代(下)	池田亀鑑	(岩波講座日本文学9)	昭7・1
平安朝の女流日記文学	吉沢義則	(岩波講座日本歴史17)	昭9・

「讃岐典侍日記」参考文献

雑誌特集号

(作者欄は讃岐典侍日記についてのみの執筆者である。)

日記・紀行・隨筆	玉井幸助	(岩波講座国語教育2)	昭11
日記文学	今井源衛	(日本文学研究必携古典篇)	昭34・6
古代の日記・紀行文学	今井卓爾	(岩波講座日本文学史3)	昭34・6
国語文化	特輯日記文学研究	玉井幸助	昭17・1
解釈と鑑賞	日記文学特集	今井卓爾	昭29・1
武蔵野文学	女流日記文学	小松登美	昭33・3
解釈と鑑賞	平安女流日記文学	今井源衛	昭36・2
国文学	古典文学研究必携	阿部秋生	昭39・6
国文学	古典に現われた生活と思想	今井卓爾	昭40・1
国文学	平安後期の文学	今井卓爾	昭40・3
国文学	日記文学の系譜	稲賀敬二	昭40・12
解釈と鑑賞	宮廷女流日記に滲む女の業	今井卓爾	昭41・3
国文学	王朝女流日記の詩と真実	田中澄江	昭44・5
言語と文芸	七〇年代での研究課題	木村正中	昭45・1
解釈と鑑賞	王朝女流日記の情趣と背景	宮崎荘平	昭47・4

叢書類

(明治以降のもので、出版年月は讃岐典侍日記所収本のものである)

日本文学全書 第五篇	博文館	明23・8
国文大観 七 日記草子部	板倉屋書房	明36・10
群書類従 卷三二二 日記部三	秀英社	明37・4
有朋堂文庫	有朋堂	大6・9
新釈 日本文学叢書 二輯二	日本文学叢書刊行会	昭2・5
新校 群書類従 第十四卷	内外書籍	昭3・9
日本文学大系 日記文学十八卷	河出書房	昭13・5
岩波文庫 二一五〇	岩波書店	昭14・11
日本古典全書	朝日新聞社	昭28・12
日本古典文学全集 十八	小学館	昭46・6
日本文学研究資料叢書(平安朝日記)Ⅱ	有精堂	昭50・11
講談社学術文庫 百九十三	講談社	昭52・11

昭和52年3月刊

『讃岐典侍日記レポート集』目次

相愛女子短期大学国文学科二年生

讃岐典侍日記にみえる年中行事について……………粟津久美子

「讃岐典侍日記における「さぶらふ」・「はべり」の用語について……………井川 雅子

讃岐典侍日記に見られる宗教性について……………西田 悦子

平安時代における女流文学日記の作者たちと讃岐典侍について……………井内 順子

讃岐典侍日記の伝本にみられる写者および所持者について……………大川 郁子

校註讃岐典侍日記本文の校訂異動一覧……………高田 利江

讃岐典侍と平安女流文学者について……………山本早 江子

讃岐典侍日記の中に見られる和歌について……………奥村 房子

讃岐典侍日記に登場する女房について……………川崎 元子

——大武三位・大臣殿三位——……………河島 則江

讃岐典侍日記の年表及びその周辺について……………巽 富美子

讃岐典侍日記と更級日記の比較……………吉田 正代

讃岐典侍日記における堀河天皇と讃岐典侍の心情について……………木下 牧

「校註讃岐典侍日記」の分段に対する一私見……………児島 敬子

讃岐典侍日記の時代における殿上人・女房の服装……………小島千嘉子

讃岐典侍日記にみる平安の内裏……………小林 一美

「校註讃岐典侍日記」の記載事項と参考事項について……………辻 展枝

讃岐典侍日記に登場する殿上人……………藤原 一代

——藤原忠実・源雅実——……………園木 昌子

「校註讃岐典侍日記」の記載事項と参考事項について……………秦 郁子

讃岐典侍日記に登場する殿上人……………藤枝 則子

——藤原忠実・源雅実——……………藤川 悦子

讃岐典侍日記にみえる年中行事について……………松岡 敬子

讃岐典日記にみられる調度品について……………松村 文子  
讃岐典侍日記の時代における一般庶民の女性について……………三浦 和美  
讃岐典侍日記における仏教用語について……………宮下 綾子  
「校註讃岐典侍日記」にみる植物・食物・動物……………安井 祥代  
讃岐典侍の父と兄たちの和歌について……………米沢 靖子

以上参考文献を出来得る限り博渉したつもりであるが、なお、管見により貴重な文献を記載することが出来なかったものもあると存じますので、先学の皆さまのご教示をお願い致します。

以上

昭和五十二年十一月三十日(本学・助教授)